

2021年度 理事長所信・基本理念・基本方針・スローガン

一般社団法人鎌ケ谷青年会議所
第45代理事長 竹内 九里子

【はじめに】

鎌ケ谷青年会議所、いわゆる「鎌ケ谷JC」とは地域のもつ課題を見つけ、アイデアや対策を地域と共に考え地域と共に実行し、まちの成長に取り組む団体です。JCではよく「当団体は意識改革団体ではなく、意識変革団体である」と耳にします。自分の為に入会したはずが、卒業する頃にはまちやひとの為を思う気持ちが身に着いている。活動をしていくなかでメンバー同士の切磋琢磨があり自らも成長を続け、意識が変わっていることに気が付きます。先輩諸兄から受け継がれた情熱を胸にし、この時代に何が求められているのか、さらに、私たちはこの地域でどう行動すべきかを考え実行します。

【仲間が集まり45年】

誰かが喜ぶようなことをしよう。その一言で集まれるのが青年会議所の仲間です。鎌ケ谷青年会議所は1977年の発足から同志を募り、45周年を迎えます。周年を祝うことは、地域とのつながりや団体の歴史を振り返りながら、関わるすべての人たちに感謝の意を伝える場です。その想いを具現化するため、式典では関係諸団体の皆様とご来場いただくすべての皆様に参加して楽しんでいただけるものにします。また、地域の特色を活かした新しい周年事業で、より多くのひとたちへ鎌ケ谷市と私たちの運動を改めて周知します。そして市民やメンバーが語り継ぎたい事業を行います。

【健康と笑顔あふれる地域】

地域の発展には欠かせないひとつに人々の健康があります。それは行政だけが取り組む問題ではありません。多くの市民自らが、地域を支えるひととして健康を維持することが必要です。青年会議所のメンバー自らが意識を高め、健康だからこそ地域のための活動や活躍ができることを示します。さらに、諸団体と協力をしながら広く地域へ伝播し、この人生100年時代に共に生きるたくさんの人々の笑顔につなげていきます。

【有意義な会議】

様々なメンバーの生活スタイルに柔軟に寄り添いながら会議やJC活動のしやすい環境をつくりまします。2021年度の各会議においては「他者の意見を聞く」「自らの意見を分かりやすく伝える」「意見をまとめる」ということに重きを置いた環境で会議を実施します。また、会議の内容をより質の高いものにするためロバート議事法を改めて学び活用し、小さ